

2021年度 入学者受入れの方針に照らした大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの志ふり返り（学科／研究科専攻の入学者受入れの方針）」のデータを活用した検証です。学科の入学者受入れの方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 福祉心理学科

福祉心理学科のアドミッションポリシーに示された「求める人物像」に対応した3項目に対して、2021年度入学生に回答を求めた。入学時19名、1年次終了時91名より回答が得られた（終了時の回答率74.60%）。項目は「主体性を持って学びたい」（以下、主体性）、「人々と共に学びたい」、「心理学を学び、人々の幸せや福祉に貢献したい」（以下、貢献）であり、得点範囲は1（全くそう思わない）～6（非常にそう思う）である。図1に2021年入学生の入学時と1年次終了時の結果をまとめた。入学時より平均値が「ややそう思う（4）」を超えており、学科が求める人物像に合致すると自己評価した学生が入学していることが示された。また、3項目の中で相対的に低い数値であった「主体性」は入学後により高まっていることも示された。これにより、アドミッションポリシーに照らした取組は適切であることが示された。続いて、過年度の1年次終了時と比較した結果を図2にまとめた。2021年度の結果は過年度と比して相対的に低いようにもみえるが、3項目ともおおむね「そう思う（5）」相当の回答といえ、学科の求める人材像に対しての自己評価が低い（≒人材像を満たしていない）わけではないと言える。

